

施設名	所在地	設置者
会津若松市 少年の家	会津若松市東町15—62	会津若松市
福島市 社会教育 市館	福島市町庭坂字砥石山40	福島市
湯本 青年 旅行	天栄村大字羽鳥字崩沢1	天栄村

(5) その他児童文化施設

施設名	所在地	設置者
福島市児童 文化センター	福島市桜木町8—13	福島市
霊山こどもの村 児童会館	霊山町大字石田字宝司沢9—1	霊山町
霊山こどもの村 児童会館	〃	〃
船引町児童館	船引町大字船引字石田151	船引町
白河第一 児童館	白河市字向新蔵112	白河市
岩井沢児童館	都路村大字岩井沢字中作19	都路村

## 7 公民館職員研修会

(1) 趣 旨

公民館職員を対象に、公民館事業に対する理解を深めるとともに、社会教育推進に必要な基本的知識・技能についての研修を行い、その資質の向上に資する。

(2) 期日、会場、参加者

- ① 期 日 昭和55年6月26日～28日  
昭和55年11月20日～23日
- ② 会 場 国立磐梯青年の家
- ③ 参加者 75名

(3) 参加対象

経験年数3年未満の公民館職員

(4) 講 師

経済評論家	笹 淵 金 二
福島大学教育学部教授	堀 口 知 明
福島市三河台公民館長	瓶 子 保 典
県教育庁社会教育課長	丑 込 幸 男
県教育庁社会教育課員	
県教育庁教育事務所員	

(5) 研修内容

- ① 公民館職員に望むもの
- ② 公民館における館長と主事の職務内容
- ③ 学級講座の開設と運営
- ④ 事業予算の編成と執行
- ⑤ 最近の経済動向とくらし
- ⑥ 公民館事業企画展開上の留意点
- ⑦ 社会教育関係団体の育成とクラブ活動の進め方
- ⑧ 社会教育関係法令の理解と国庫補助事業
- ⑨ 公民館報の編集と事業広報について

- ⑩ レクリエーションのもち方
- ⑪ 発達段階に応じた生活設計について

## 8 公民館管理運営研究協議会

(1) 趣 旨

公民館の管理運営上の当面する諸問題について研究協議し、公民館経営の改善を図り、公民館活動の一層の振興に資する。

(2) 期日、会場、参加者

- ① 期 日 昭和55年10月15日(木)、16日(木)
- ② 会 場 県婦人会館
- ③ 参加者 114名

(3) 参加対象

公民館長、市町村教育委員会社会教育課長等

(4) 講師、助言者

- ① 講 師  
福島大学教育学部教授 堀 口 知 明  
浅川町長 上 田 林 助  
福島県社会教育委員 梅 宮 多 喜 子  
福島県教育庁社会教育課主幹 神野藤 忠 吉
- ② 助 言 者  
福島県教育庁社会教育課員  
福島県公民館連絡協議会役員

(5) 研修内容

- ① 講 義  
「本県社会教育行政の現状と課題」  
福島県教育庁社会教育課主幹 神野藤 忠 吉
- ② シンポジウム・フォーラム  
「これからの公民館に望むこと」  
福島大学教育学部教授 堀 口 知 明  
浅川町長 上 田 林 助  
福島県社会教育委員 梅 宮 多 喜 子
- ③ 研 究 協 議  
その1 「公民館運営に関する現状と問題点」  
その2 「公民館事業の現状と問題点」

## 9 視聴覚教育指導者研修会

(1) 趣 旨

地域における視聴覚教育指導者(中級)の養成をはかるため、社会教育に関係している指導者に対し、「視聴覚教育研修カリキュラムの標準」に基づき、視聴覚機器の利用や教材の作成とその効果的な利用のすすめ方について専門的な研修を行い、指導者の拡充を図る。

(2) 期日、会場、参加者

- ① 期 日 昭和55年12月17日～12月20日
- ② 会 場 福島県教育センター
- ③ 参加者 市町村教育委員会、社会教育関係機関の職員及び社会教育関係団体の指導的立場にある者

(3) 講師、助言者

宝仙学院短期大学講師	中 沢 茂 夫
福島大学教育学部教授	島 田 啓 二
福島県教育センター経営研究部	加 藤 邦 明
V T R 製作会社技術者	